令和８年度　高知市精神障害者地域移行代表者会議

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

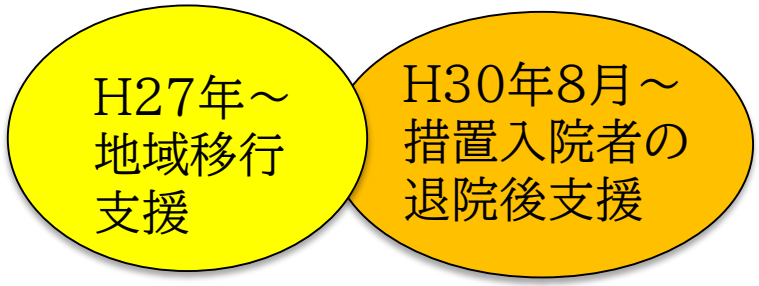
「２年目の高知市精神障害者アウトリーチ支援事業について」

高知市保健所　健康増進課

誰もが地域で当たり前に暮らすことのできる高知市をめざして



精神疾患が疑われる者や精神科医療の中断者等が在宅のまま安心した暮らしを実現できることをめざし令和6年度から多職種によるアウトリーチ支援（訪問支援）事業を開始



入院をきっかけとした支援の仕組み

課題

医療に自らつながることができない人がいることが分かった。

入院に頼らない支援の仕組みがさらに必要

事業概要

- ■ 対象者への早期介入
- ■ 入院治療だけに頼らない地域生活支援の構築
- ■ 医療と生活面の支援が可能となる多職種チームによるアウトリーチ支援の実施

精神科病院1か所に事業委託（3年間）

多職種チーム

・精神保健福祉士・看護師・ 薬剤師・作業療法士・医師の専門職

事業内容

・本人や家族の希望を伺いながら支援計画を作成。支援計画に基づき訪問や電話相談を実施

・支援期間は原則6か月

※必要時、支援期間の短縮・延長が可能

対象者

現在高知市に居住する方で

① 精神疾患が疑われる未受診者

② 精神科医療の中断者

③ ひきこもりの精神障害者

④ 精神科病院への入退院を繰り返す者

⑤ 精神疾患による長期入院後の退院者

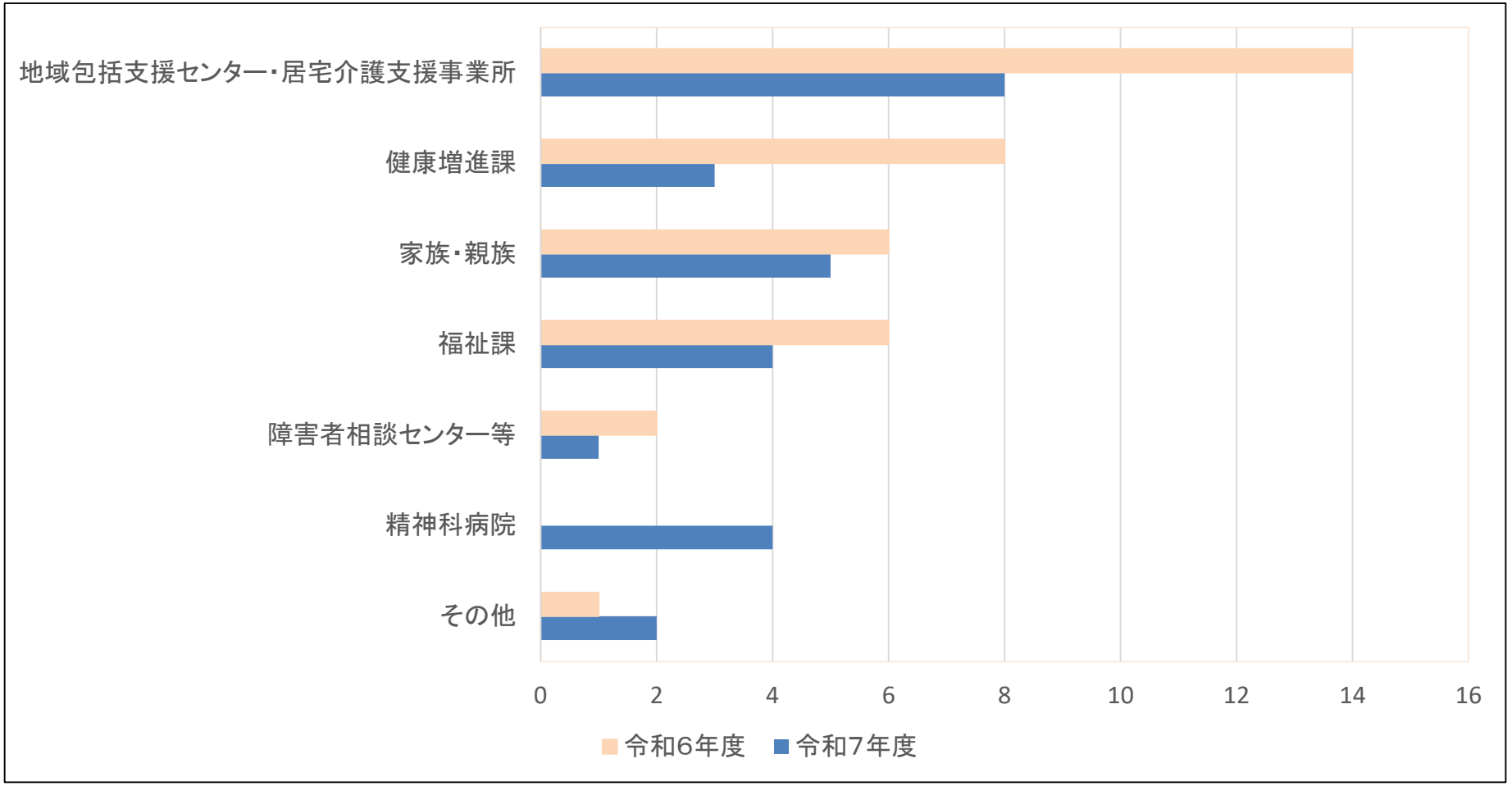
⑥ 精神障害等が理由で地域から孤立している者

事業実績

	令和6年度	令和7年度	
利用相談	37	27	
支援実施	16	24	新規：11 前年度継続：13
支援終了	3	9	
支援未実施※	21	16	

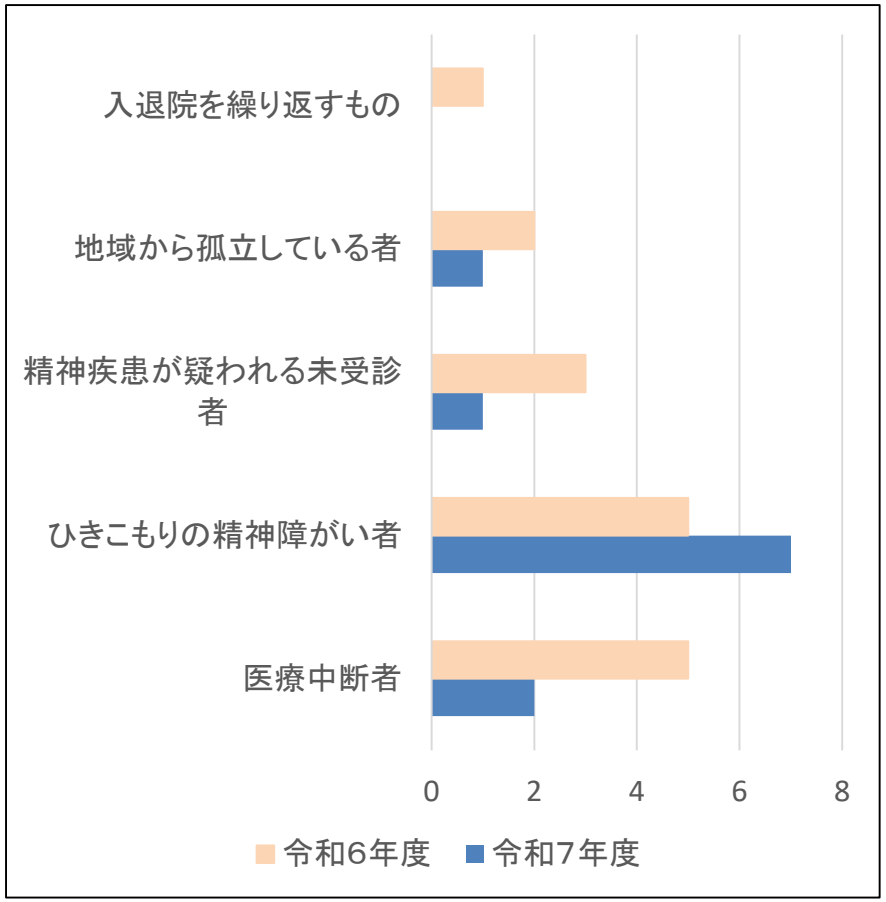
※　支援未実施者：アウトリーチチームに引継ぐために調整中の人、利用相談後、対象者の状況変化により利用とならなかった人や市外転出者。危機介入が必要なケースについては、相談元の機関で対応。

事業利用相談元

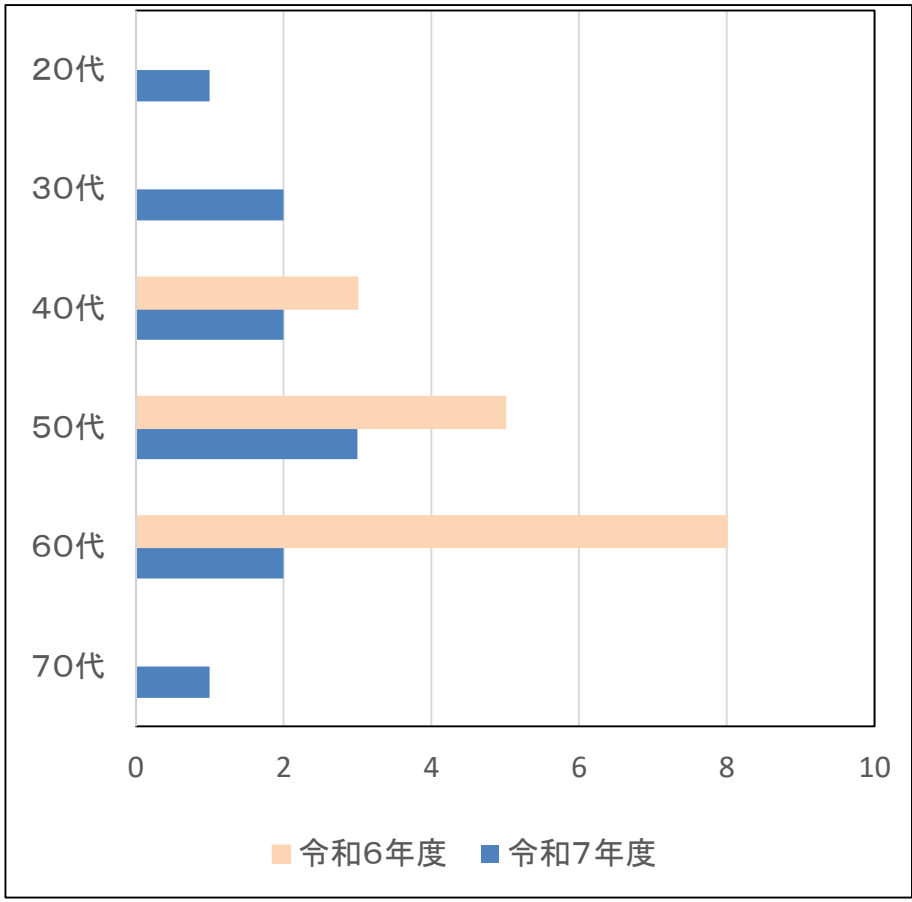

地域包括支援センター・居宅介護支援事業所
健康増進課
家族・親族
福祉課
障害者相談センター等
精神科病院
その他
0
2
4
6
8
10
12
14
16
令和6年度
令和7年度

支援実施者

【カテゴリー】



【年齢】



平均年齢49.6歳（R6：57.7歳）

支援実施者の状況

【支援回数】

	支援方法	電話相談	来所相談	訪問支援	合計
令和6年度	実人数	12	1	14	16
	延件数	166	1	378	545
令和7年度	実人数	18	4	23	24
	延人数	242	8	483	733

【支援内容】

	日常生活支援	家族支援	精神症状服薬	身体疾患	心理支援	通院等医療相談	福祉制度	対人関係・社会関係	その他
令和6年度	220	69	110	0	5	20	42	6	64
令和7年度	341	78	93	45	35	29	36	38	38

支援終了者

支援期間	0～6か月	6か月～1年	1年以上	計
令和6年度	3	0		3
令和7年度	1	3	5	9

【終了の理由】
令和6年度：本人希望等：3人
令和7年度：医療・障害福祉サービス調整により安定：7人
入院治療：2人

支援の結果

- 精神疾患が疑われる未受診者４人のうち３人が精神科医療に繋がった。
- 精神科医療中断者７人のうち５人は受診を再開した。
- ひきこもりの精神障害者12人のうち、５人は医療や福祉サービスに繋がった。（身体科治療に繋がった人：1人）
- 地域から孤立している者３人のうち、２人が医療に繋がり、１人はアウトリーチ支援を通じて生活の見直しができた。

支援の効果

・継続的な関わりを通じて、病状悪化や生活破綻していた対象者が、医療に繋がることができ、生活の立て直しもできた。

・身体疾患を併発している人に対して、アウトリーチチームと一緒に訪問支援を行い身体科医療につながった。

・早期介入することで、家族の負担軽減にもつながった。

・行き詰っていた支援が動き出すきっかけづくりができ、支援者への安心感につながった。

事業の成果

・医療中断者だけでなくひきこもりの者へと対象が広がった。

・問題整理や関係づくりに時間をかけることで、支援終了者９人が支援につながった。

・高齢分野からの相談が中心だったのが、精神科病院からも利用相談があり、関係する機関に広がりがでてきた。



最後に

・支援が届きにくい人達への地域支援の一つとして、アウトリーチ支援では、対象者や家族に寄り添った支援ができます。
・多職種チームによる支援では、それぞれの専門性を発揮することで、医療面だけでなく生活面や社会参加等、包括的な支援ができます。

誰もが地域で当たり前に暮らすことのできる
高知市をめざす